

## 平成 27 年度 第 1 回 介護・医療連携推進会議 記録

### ● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス麻生

### ● 開催日時・場所

日時	平成 27 年 4 月 22 日（水） 14:00～15:45
場所	社会福祉法人 慈正会 虹の里 1 F 会議室

### ● 参加者（順不同）

NO	所属（役職）	氏名
1	柿生第二地区民生委員児童委員協議会	A 様
2	地域包括支援センター虹の里	B 様
3	地域包括支援センター虹の里	C 様
4	居宅介護支援センター虹の里	D 様
5	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	E 様
6	「結」ケアセンターあさお	F 様
7	柿生アルナ園地域包括支援センター	G 様
8	柿生アルナ園	H 様
9	株式会社エイプレイス（部長代行）	山本 八寸代
10	エイプレイス麻生（管理者）	初山 輝行
11	エイプレイス麻生（計画作成責任者）	中山 あんり
12	エイプレイス麻生（看護師）	小林 瑞紀

### ● 議事

NO	議事内容
1	サービス提供状況について
2	事例検討について
3	その他（質疑応答等）

● 記録

議事 1	サービス提供状況について
	<別紙配布資料にて報告>
議事 2	事例検討について
	<別紙配布資料にて報告>
議事 3	その他（質疑応答等）
山本	川崎市では定期巡回事業を訪問介護事業所に委託することにより、定期巡回の利用者を増やしていく方向です。現在、川崎市には定期巡回の事業所が7区10か所ございます。その中で委託の定期巡回を行っているのは現段階ではエイプレイスのみとなっております。委託先としましては、行政も働きかけて下さり、5月から川崎市の社会福祉協議会さんが全面的に委託を受けて下さることとなりました。今後委託先を増やし、定期巡回の利用者を増やしていきたいと思っています。
D様	<p>今回紹介された事例は私が担当している利用者さんなのですが、定期巡回サービスを利用する前は朝と夕に訪問介護に入ってもらっていました。しかし事例にもありましたが、失禁が多くなり、訪問回数を増やすとなると、訪問介護では単位が足りない為、複数回訪問できる定期巡回サービスを利用することにしました。最初は要介護2で区変をして3、再度区変をして結果が出たばかりなのですが、現在は介護度4となりました。奥様も当初は要支援2でしたが、認知症がだいぶ進んでこられ、現在は要介護1です。ご家族は同居されていらっしゃるのですが、介護は困難な状況でした。遠方にお住いの長女さんはヘルパーの資格をもっていらっしゃるのですが、当初はやきもきしていらっしやいました。最初は完璧にみたいと思って介護されていらっしやったのですが、その気持ちが空回りしているような状態で、疲れ切ってしまっていました。そんな状態で定期巡回サービスを利用するようになって、非常に流れは落ち着いているなという印象です。事例にもありましたが、奥様が随時のコールを押せる、これが一番の収穫だと思います。認知症もあってなかなか新しいものは覚えられないと思っていましたし、例えばご主人が倒れても奥様がなんとか立たせようとされていたので、共倒れを心配していたんですが。</p> <p>昨年はターミナルの方向に向かっていたんですが、持ち直したようです。デイサービスやショートステイ利用時は他の利用者さんと交ざって楽しそうに過ごされています。それも、デイサービスやショートステイに送り出してくれる介護があつてこそと思います。今後の課題としては、奥様がデイサービスへ行かれる日は、日中独居となり、奥様が食事の準備がままならないため、食事をどうするかということがあります。食べないと体力が低下し、昨年と同じ状態になりかねないので、食事の部分をあらたにお願いしたいと思っています。定期巡回は訪問回数に制限はないと認識していますし、バランスを考えると食事は調理よりも配食弁当かなと考えておまして。今度の担当者会議で話し合えればと思っています。今回の事例はとてもいい、成功事例ととらえています。オレンジのユニフォームも印象深いですし、とても細かく報告してくださるので、状況が手に取るようにわかって、非常に良かったです。</p>
C様	この事例はエイプレイスさんだけが入っているんですか？
初山	今回紹介させていただいた事例は、現状では、委託連携は行っておらず、エイプレイス麻生

	のみで対応させていただいております。
G様	利用者8名のうち連携しているのは、何名ですか？
初山	今は2名の方のケアで委託連携をさせていただいております。それぞれ「結」ケアセンターさん、グループともさんと連携しながらケアに入っております。また、もう亡くなってしまったのですが、ターミナルケアの方の対応の際、グループともさんとエイプレイス麻生で連携させていただき、看取りをさせていただきました。
E様	もう亡くなってしまったのですが、最初に係わった方は3回で終わってしまいました。これから携わろうというところで終わってしまったので、申し訳なかったのですが……。今まで我々は最低でも30分でやってきました。ケアの手際やご挨拶をして顔色や体調を伺ってケアをすることに慣れていました。短時間、10分となると、ケアの手際だったりもありますが、慣れていけばそれにできるかなと思います。連携している事業所としては、事業性を考えると、行けるヘルパーが交通費等の問題で限られてくるんですね。今も入らせていただいている方のところには、サ責2名が関わっています。もしかするともう1人、関わられるかもしれませんが、課題としては、登録ヘルパー等の雇用形態もあり、10分刻みのやり方がなじまないことと、事業性の問題があると思います。でもそれでもどうして私どもが、連携しようと思ったかと申しますと、1番の要因は、従来の定期巡回のサービスでは、サービスは定期巡回の方がいいが、いままでのなじみの関係がすべて変わってしまうという課題がありました。認知症の方は特になじみの関係が大切です。しかし、連携すればなじみのヘルパーがそのまま関わられる。それはとても大切なことです。今後法改正もあって、長く入院できなくなることも考えると、定期巡回サービスで委託することは必要なことだと思いました。趣旨は素晴らしいと思います。ただ、タブレットの操作になかなか慣れなくて。これからの時代、情報をぐっと集約することは大切と思いますが、報告するのに時間がとられてしまうのも現状です。
D様	急に登録ヘルパーさんが覚えるのではなくて、まずはサ責が覚えてヘルパーさんに教えるでもいいんじゃないかしら。 定期巡回の委託は、日中の定期訪問は委託先の訪問介護、随時対応はエイプレイスと聞いていたが、利用者の家の近くが委託先となった場合には委託先の訪問介護さんでも対応可能なんですか？
山本	訪問介護さんも随時の待機要員としてヘルパーさんがいるわけではないので、その辺りも今後少しずつ相談しながら、ケースバイケースで対応していきたいと思っています。
E様	随時の依頼がきても、不在の場合もありますし、今はこちらの都度の対応で、受けれるところで対応している感じです。でも今後も委託先として協力させていただこうと考えています。
F様	今、連携で入っている利用者さんへは、うちのヘルパーが4人携わっています。デイの送り出しについては、ケア時間が30分ということと身体介護で支払いをしていたため、収支が合わなくなってしまい、対応できなくなってしまいましたので、エイプレイスさんで対応させていただいております。あと、ヘルパー4人ともタブレットの操作については、何度もエイプレイスさんの方に電話をしてしまって申し訳ないですが、なんとか慣れてきているようです。ケアについては、今までの流れと変換できない部分もあるようです。うちは社員が1人

	しかいないので、グループともさんのようにはいかないと思いますが、こちらにかかってくる電話が減り、呼ばれる回数も減ったので、良い方向に向かっているように感じています。
A様	しかし、時間については10分では短いように感じますが、どうですか？ケアして記録も書いて10分でしょ？利用者と話をすることも難しいのではないのでしょうか？私がやっていたころは2時間のケアが当たり前でしたからね。
山本	私も3時間のケアをしたことがあります。今までの訪問介護だと10分では厳しいかもしれませんが、定期巡回に携わるとヘルパーのスキルも上がっていきます。概ね、失禁時のオムツ交換、シーツ交換までしても30分かからないのが現状です。10分だと、安否確認とか服薬確認が主になるかと思います。
E様	10分で終わるということはそうそうないですが。でも、同行させてもらいましたが、無言でやるようなことはなかったですよ。
D様	報告書を読んでいる限りでも、いろいろ話しながらやっているんだなというのは伝わってきます。
初山	あくまで10分は委託する際の時間の単位です。先ほどご報告させていただいた資料にもございますが、実際10分のケアというのはほとんどありません。短時間といますが、あくまで状況に応じてのケアになりますので、コミュニケーションも当然、重要と認識しております。
山本	法人としては、1社丸抱えの定期巡回ではなく、法人の垣根を越えて地域に返す定期巡回が方針です。今後も委託連携先を増やし、地域の方々と協力しながら、地域を支えるチーム型定期巡回の利用者数を増やしていきたいと思います。

議事録作成	初山 輝行
-------	-------

以上